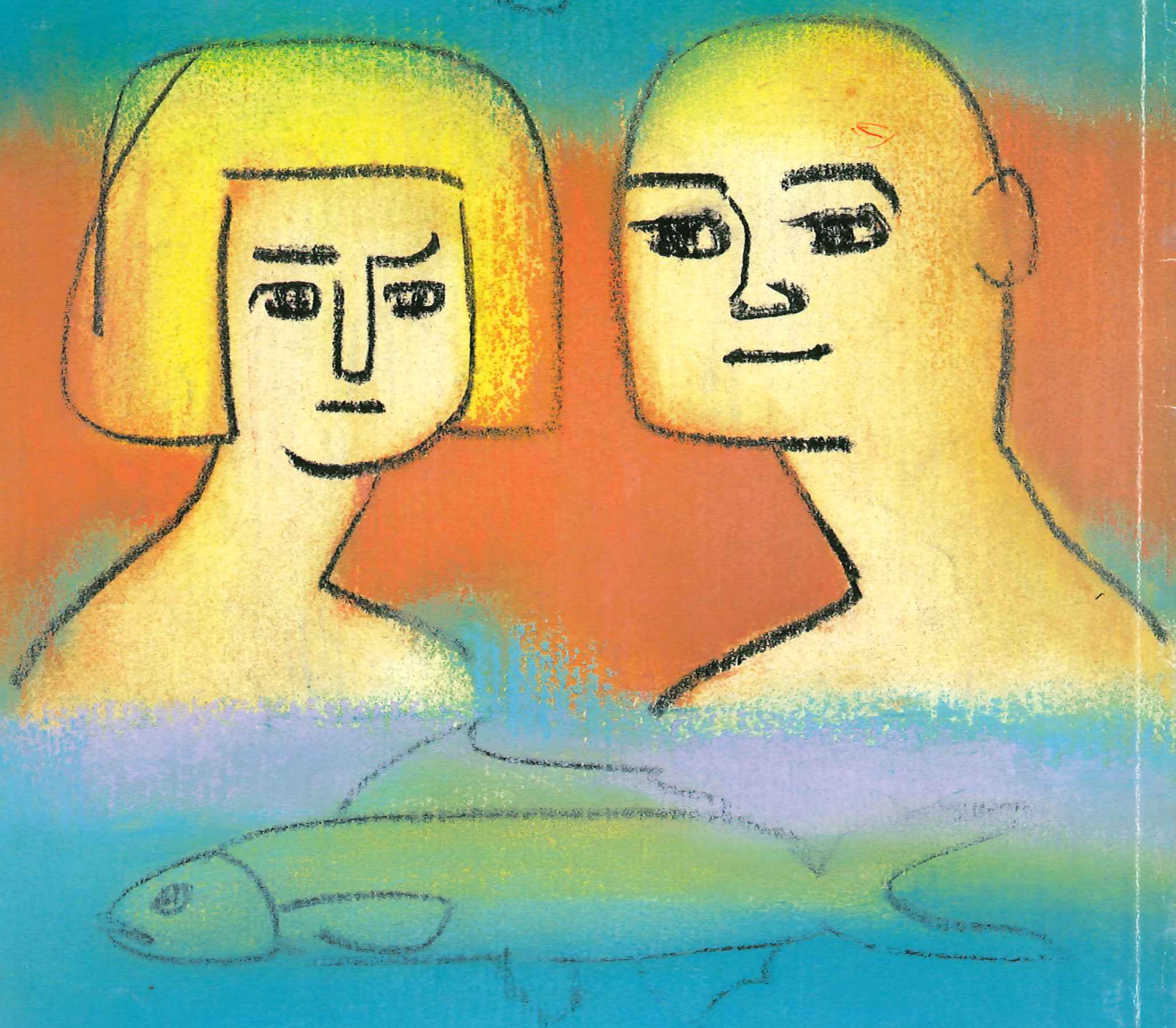


成溪會誌

1991.7 No.73



Guina 83

成蹊学園の 近況

(成蹊学園総務課提供)

大学の近況

国際交流室の開設

国際交流に関する業務は、学部事務課で担当しておりますが、増加する外国人留学生（平成三年度・大学院学生一名、研究生七名、学部学生二名）の指導や交換留学・短期留学の実施に当たって、現状ではその対応が困難となってきたため、本年四月より「国際交流室」を開設しました。

国際交流に関する企画・運営は、加藤節委員長（法学部）と四名の委員

（各学部一名）からなる「国際交流委員会」によって、実施されます。同時に、国際交流室には事務職員一名と日本語担当兼生活指導の嘱託一名が配置されています。

ここで、国際交流の実状の一端を紹介しましょう。——昨年の三月に本学とオーストラリアのグリフィス大学との間で締結された「留学生交換協定」によって、本学からは文学部英米文学科二年・秦絵里さんと法学部政治学科二年・伊原毅君の二名がグリフィス大学に派遣されました。また、グリフィス大学からは、本年の三月に、アジア国際学部二年カレン・リン・オブライエンさんと同学部三年キリリー・ローランドさんの二名が本学に派遣されてきて、文学部に所属しています。二人は、外国人協定留学生用教育プログラムとして開講された「日本語」等の授業のほか、文学部の「日本文学」や「近代日本の思潮」の授業を履修し、日本のジャーナリズムや現代日本人の生活と意識をテーマとする「演習」にも参加しています。

また、このような「長期」の留学のほかに、アメリカのゴンザガ大学およびイギリスのエディンバラ大学に、夏期休暇中の三、四週間滞在して、集中



カレン・リン・オブライエンさん(左)とキリリー・ローランドさん(右)

的に英語や現地の文化を修得する「短期留学制度」が設けられ、今年度からスタートすることになりました。

ゴンザガ大学は、アメリカ西海岸ワシントン州のスポーケンにあり、一八八七年にイエズス会によって創立された大学です。学生数は約四千名、文科系中心のこじんまりとした大学で、同規模の大学中では、西海岸地区のトップレベルとの評価を得ています。

また、エディンバラ大学は、スコットランドの首都エディンバラにあり、一五八三年に創立され、学生数は約一万二千名でイギリスでも有数の規模を誇り、法学・医学などの伝統的な分野

に加え、近年ではマイクロエレクトロニクス、人工知能などの先端的分野の研究でも目覚ましい実績を上げています。

最後に、今後の国際交流についてふれますと、現在、「留学生交換協定校」はグリフィス大学一校ですが、ゴンザガ・エディンバラ両大学とは来年度実施に向けて交換留学協定締結についての具体的な検討を開始しています。そのほかにも、イギリスのケンブリッジ大学のサマースクール参加についても実現が見込まれています。

また、本年五月下旬にはアメリカのアーカンソー大学の学生から日本研修プログラムの一環として本学において授業の参観、学生・教員との懇談の希望が寄せられています。

今後、国際交流委員会を中心に様々な形での国際交流が企画されることになりそうですが、国際交流室は、これらのことに十分対応できるよう努めていきます。

平成二年度の就職状況

平成三年三月卒業生の就職先を産業別にしてみると、長期にわたった景気

拡大・上昇傾向は終息し、健全・安定化に向かっていく日本経済の動向が、採用戦線にも如実に反映していることがわかります。

前年度、減少傾向の見られた製造業への就職率が三五％（前年比・三％増）と復調の兆しが見えつつある反面、前年度は金融主導型といわれて採用戦線をリードした金融業界への就職率は、二五％（前年比・一％減）と、ほぼ前年並にとどまっています。

地域別では、就職者総数の八二％が東京都で、関東地区（含、東京都）で見ると八六％となっています。

また、民間企業就職者の中で、上場企業への就業率は六四％と産業界の多角化、価値観の多様化の中で高率を維持しています。

本学は伝統的に「就職に強い成蹊」として社会的評価を得ており、本年三月卒業生も別表のような就職内容を示し、その評価にふさわしい実績を収めています。

このことは、本学の教育方針、恵まれた教育環境による人間形成、さらには卒業生の実績等を通じ、採用者側に大きな信頼と期待を持たれている証左といえるでしょう。

主な就職先（上位90社）

(3. 3. 31 現在)

企業名	就職者数			企業名	就職者数			企業名	就職者数		
	経・文・法	工	計		経・文・法	工	計		経・文・法	工	計
東京海上火災保険	19		19	日興証券	6	1	7	三菱プレシジョン	4	1	5
三菱電機	13	6(3)	19(3)	パイオニア	4	3	7	三菱電機	4		4
日本航空	15	1	16	北海道拓殖銀行	6	1	7	旭化成ホームズ	4		4
富士通	8	7	15	丸井	6	1	7	オムロン	2	2(1)	4(1)
三菱商事	14		14	※三菱金属	3	4	7	オリックス	4		4
沖電気工業	9	3	12	三菱銀行	7		7	大塚商会	3	1	4
明治生命保険	9	3	12	安田信託銀行	7		7	近畿日本ツーリスト	4		4
日本電気	4	8	12	朝日生命保険	5	1	6	クラリオン	3	1	4
安田火災海上保険	10	1	11	鹿島建設	3	3	6	コニカ		4	4
大和銀行	9	1	10	中央信託銀行	6		6	埼玉銀行	4		4
三菱信託銀行	10		10	東京エレクトロン	6		6	シャープ	3	1	4
大和証券	9		9	日本火災海上保険	6		6	新キャタピラー三菱	3	1	4
第一勧業銀行	9		9	日本ビクター	2	4	6	住友スリーエム	3	1	4
日産自動車	4	5(1)	9(1)	三井ホーム	6		6	大東京火災海上保険	4		4
日本アイ・ビー・エム	4	5(1)	9(1)	旭化成工業	5		5	東京特別区職員	4		4
日本団体生命保険	9		9	I N A X	5		5	東洋情報システム	4		4
日立製作所	5	4(1)	9(1)	インテック	5		5	ニコン	3	1(1)	4(1)
富士銀行	8	1	9	伊勢丹	4	1	5	日製産業	2	2	4
三菱自動車工業	2	7	9	大倉商事	5		5	日本総合研究所	2	2	4
太陽神戸三井銀行	7	1	8	JTB(日本交通公社)	5		5	富国生命保険	4		4
山一証券	5	3	8	ソニー	2	3(2)	5(2)	富士ゼロックス	1	3	4
旭硝子	4	3	7	大成建設	5		5	ポニーキャニオン	4		4
キヤノン	4	3(2)	7(2)	ディーシーカード	5		5	松下電工	4		4
キヤノン販売	5	2	7	東京銀行	3	2	5	三菱化成	3	1(1)	4(1)
三和銀行	7		7	東芝	2	3(2)	5(2)	※三菱鉱業セメント	4		4
住友銀行	7		7	ニチメン	5		5	安田生命保険	4		4
住友信託銀行	7		7	日本紙パルプ商事	5		5	横河電機	2	2	4
全日本空輸	5	2	7	日本生命保険	5		5	横河・ヒューレット・パッカ	4	(1)	4(1)
大正海上火災保険	7		7	松下電器産業	1	4	5	和光	4		4
大日本印刷	6	1	7	三井信託銀行	5	(1)	5(1)	三菱地所	3		3

()内は、大学院生で外数

※印は90. 12月より三菱マテリアル（三菱金属・三菱鉱業セメント合併）

役職員

成蹊学園

理事長 古賀 繁一

専務理事 ○三橋 啓了

理事 ○朝倉 孝吉

同 新井益太郎

同 ○石坂 泰彦

同 ○岩崎 寛彌

同 上野 裕也

同 内川 芳美

同 大槻 文平

理事 ○梶谷 玄

同 ○河野 義克

同 進藤 貞和

同 田中 一行

同 ○高橋 靖

同 ○岡岡喜久蔵

同 ○丹治 道生

理事 中田 乙一

同 中西 俊男

同 中村 俊男

同 ○永井 邦夫

同 長谷川邦彦

同 布施 辰治

同 三村 庸平

理事 安原 茂

同 吉川 五男

監事 ○赤間 義洋

同 渡辺 文夫

総務部長 布施 辰治

経理部長 大野 尊一

管財部長 佐仲 努

成蹊大学

学 長 上野 裕也

経済学部 長 田中 一行

経済学研究科 長 田中 一行

経営学研究科 長 田中 一行

工学部 長 中西 俊男

工学研究科 長 中西 俊男

文学部 長 内川 芳美

文学研究科 長 内川 芳美

法学部 長 安原 茂

法学政治学研究科 長 安原 茂

学長室 長 小木曾正和

学事部 長 横山 博

学生部 長 正田 啓吉

図書館 長 紋谷 暢男

情報処理 長 飯田 善久

センター 長 飯田 善久

アジア太平洋研究 長 加藤 節

センター 長 加藤 節

成蹊中学・高等学校

校 長 長谷川邦彦

教 頭 ○小宮山則信

教 頭 松田 淳一

成蹊小学校

校 長 吉川 五男

教 頭 高柴 光男

(○印は卒業生)

在学生及び教職員数

(3. 5. 1 現在)

所 属			在 学 生 数			教 職 員 数		
			男	女	計	専 任	非 常 勤	計
大 学	大 学 院	工 学 研 究 科	82	4	86			
		経 済 学 研 究 科	6	0	6			
		法 学 政 治 学 研 究 科	9	1	10			
		文 学 研 究 科	5	14	19			
		経 営 学 研 究 科	8	3	11			
	学 部	学 長 室	—	—	—	1	—	} 585
		経 済 学 部	1,571	436	2,007	46	} 361	
		工 学 部	1,449	128	1,577	93		
		文 学 部	287	1,564	1,851	43		
		法 学 部	1,397	516	1,913	41		
小 計			4,814	2,666	7,480	224	361	585
高 中 小 養	等 学 校	611	441	1,052	48	21	69	
	学 校	489	272	761	42	15	57	
	学 校	439	273	712	33	4	37	
	護 教 諭	—	—	—	3	—	3	
事 務 ・ 技 術 ・ 労 務 職 員						192		192
合 計			6,353	3,652	10,005	542	401	943

平成3年度入学試験状況

◎ 大 学

(3. 3. 31 現在)

学 部 ・ 学 科		募集人員	一 般 入 試				入 学 手 続 完 了 者			
			志願者	合 格 者		一般入試	推 薦 入 試		海外帰国子女入試	計
				正 規	補 欠		内 部	外 部		
経済学部	経 済 学 科	290	4,794	542	123	225	25	56	6	312
	経 営 学 科	200	3,464	315	100	120	53	31	1	205
	計	490	8,258	857	223	345	78	87	7	517
工学部	機 械 工 学 科	80	890	123	51	67	7	24	0	98
	電 気 電 子 工 学 科	80	1,040	169	43	67	6	15	0	88
	工 業 化 学 科	80	1,020	144	61	71	3	19	0	93
	経 営 工 学 科	80	713	146	35	60	13	17	0	90
	計測数理工学科	60	645	88	49	69	0	13	0	82
	計	380	4,308	670	239	334	29	88	0	451
文学部	英 米 文 学 科	166	1,483	309	26	147	7	36	5	195
	日 本 文 学 科	100	897	188	0	90	1	16	0	107
	文 化 学 科	180	1,951	328	22	120	13	38	7	178
	計	446	4,331	825	48	357	21	90	12	480
法学部	法 律 学 科	280	4,109	496	0	231	23	57	5	316
	政 治 学 科	160	2,532	265	53	103	37	42	3	185
	計	440	6,641	761	53	334	60	99	8	501
合 計		1,756	23,538	3,113	563	1,370	188	364	27	1,949

(注) 1. 推薦(内部)：成蹊高校よりの推薦入学者

2. 推薦(外部)：指定校制による推薦入学者

◎高等学校

(3. 3. 31 現在)

学 年	募集人員	志 願 者	合 格 者	入学手続完了者	成蹊中学校からの推薦入学手続完了者	海外帰国子女入学手続完了者
第 1 学 年	約 110	480	159	106	232	11
第 2 学年編入	若干名	27	5	5		

◎中 学 校

(3. 3. 31 現在)

学 年	募集人員	志 願 者	合 格 者	入学手続完了者	成蹊小学校からの推薦入学手続完了者
第 1 学 年	約 110	655	127	113	132
国際特別学級	第 1 学年	約 10	53	10	
	第 2 学年	若干名	22	2	
	第 3 学年	若干名	17	3	

◎小 学 校

(3. 3. 31 現在)

学 年	募集人員	志 願 者	合 格 者	入学手続完了者
第 1 学 年	114	913	114	114
国際特別学級	(平成3年9月期募集と合わせて)	(4 月 期)	(4 月 期)	(4 月 期)
第 5 学 年	18	10	10	10

学園史料館 資料紹介

「天地玄黄」の優勝楯

毎年秋季に旧制高校の全校生徒、教職員が天・地・玄・黄の四組に分かれて校内運動会が開催され、優勝した組に与えられたものです。この楯は大正十五年十一月、岩崎小弥太理事長より贈られました。天地玄黄の下にある数字は優勝した年を皇紀年をもって表しています。(例、二五八六は大正十五年、二六〇〇は昭和十五年)

なお裏面には次のように記されています。

千萬乃 軍奈利友 言挙不為
取而可来 男常曾念
紀元二千五百八十六年十一月
贈成蹊学園 男爵岩崎小弥太

ちよろづの いくさなりとも
ことあげせず とりてきぬべき
をのことぞおもふ

万葉集 卷六・九七二番

女学校の薙刀授業風景

成蹊女学校では心身の鍛錬の手段として日本古来の武芸が採用され、薙刀の第一人者といわれた園部秀雄女史を迎えました。当時、薙刀を体育の正課としていた学校は成蹊だけのようです。ここに掲げたのはその授業風景を伝える貴重な一点です。

女学校日誌 大正十年度

成蹊女学校から成蹊高等女学校になった年の大正十年四月から翌十一年三月までの四年生(最上級生、四年生が修学旅行中は三年生)の手による毎日の記録です。当番制で和綴じの野紙に毛筆で丁寧に書かれています。この形式は昭和二十五年まで継続されており、これは保存された十数冊の中の一冊です。一部を原文のままご紹介しましょう。

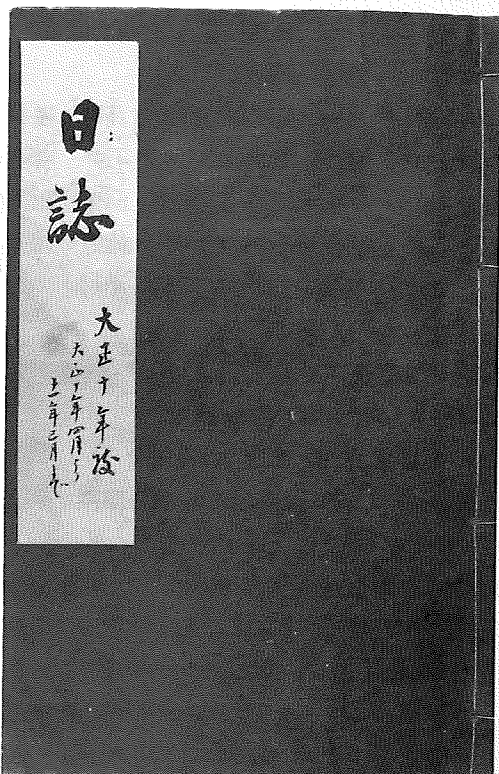
六月廿一日 火曜日 晴後雨

当番 ○○○○

朝、凝念の時中村先生が御見えになりました。中村先生は御咳きを伺った丈ですぐに分ります。いらして下さる日は大変うれしうござ



女学校の薙刀授業風景 大正八年



女学校日誌 大正十年度



優勝楯 うら



優勝楯 おもて

います。(中略)
御かへりのさよならのとき、二年の方は、二十日大根のわぎ／＼中村先生が洗って下さったのを持ってかへる様に仰いましたので、四年生が御世話して差上げました。(後略)

成蹊学園史料館

開館日 月／金 ただし学園の定める休業日を除きます。

(成蹊学園 学園史料室)

卒業生の皆様へ

学園史料館では学園関係史料と展示資料の収集につとめて、意義ある史料館にしていきたいと考えております。書きこみのある教科書、記念メダル、写真その他どんな些細なものでも結構です。年代は問いません。お手持ちの資料がございましたらご連絡下さい。写真は複写の後お返しいたします。

〈連絡先〉

成蹊学園学園史料室

〒180 武蔵野市吉祥寺北町三丁目
電話〇四二二一五一一五八二

成蹊会 報告

平成2年11月1日
平成3年4月30日

一、会 議

○理 事 会

第106回理事会(3・3・28)

- (1) 平成3年度成蹊会事業計画・収支予算案承認の件
- (2) 成蹊会評議員推薦の件

○特別委員会

スポーツ振興委員会(2・12・13)

○同 窓 会

- (1) 高校(旧制)委員会(2・11・2)
- (2) 工学部同窓会総会(2・11・25)
- (3) プレメ同窓会総会(2・12・8)
- (4) 法学部委員会(3・1・17)
- (5) 政治経済学部委員会(3・2・27)
- (6) 法学部委員会(3・3・7)
- (7) 小学校委員会(3・3・12)
- (8) 工学部幹事会(3・3・12)
- (9) 高校(新制)委員会(3・3・20)
- (10) 経済学部委員会(3・3・27)

平成三年度(春) 叙勲受章者

○勲二等瑞宝章

住田 俊一(旧高16年卒) 元運輸省局長

○勲三等瑞宝章

川越 邦雄(旧高15年卒) 元建設省所長

(敬称略・叙勲は勲三等以上・本会調べ)

○支 部 会

- (1) 九州支部会(2・11・10)
- (2) 関西支部会(2・11・16)

二、催 事

○文学部25周年記念行事(2・11・17日本工業倶楽部)

文学部・文学部同窓会共催

来会者 招待者80名 教職員50名 卒業生220名 計350名

○第68回枯林忌(3・2・23)(本誌 頁参照)

墓参 果鴨染井墓地 追悼会 三菱スポーツセンター

来会者 中村家4名 学園31名 卒業生60名 計95名

○第14回成蹊桜祭(3・4・7)(本誌40頁参照)

場所 成蹊学園構内

主催 成蹊会成蹊桜祭実行委員会

後援 成蹊学園

三、刊 行 物

- (1) 成蹊会誌72号(3・1・1)
- (2) 勤務先別名簿(3・1・1)

四、寄 付 金(氏名・金額は別掲78・79頁参照)

表紙のことば

荻野 宏幸

この絵は『大地の歌』のうち、『海からの贈り物』とした数点のうちから選んだ。遺伝学は、地球の生命は一回性の発生とするようだが、草木も動物もバイ菌も遠い親戚で、みんな海からの贈り物ということになる。
闘牛の国スペインのピカソは、よく人と牛とをからませたが、その真似なんかしては芸がない。黒潮が、南海に湧く莫大な幸を運んでくる日本の絵描きは、人と魚をからませたらよからう。健康な潮の香がただようだろうか。

平成3年7月1日

編 集 発 行 人 谷 岡 喜久蔵
発 行 所 社団法人 成蹊会

〒180 武蔵野市吉祥寺北町3-3-1

電 話 0422-51-2244(直通)・5181(交換)

F A X 0422-54-6766